

職理事の過半数の同意があった場合は、開会前日までに通知し、理事会を招集することができる。

第31条（議事記録） 理事会の議事に関しては、その議事結果を記載した議事録を作成し、議長及び出席理事2人以上の記名捺印を受け、保存しなければならない。

第32条（幹事） 理事会の会務担当のための幹事をおき、所属職員の中から院長が任免する。

第33条（院長） ①院長は理事会の推薦により保健福祉部長官が任命する。

②院長の任期は3年とし、1回に限り任期を延長することができる。

③院長はがんセンターを代表し、がんセンターの業務を統括し、所属職員を指揮・監督する。

第34条（院長の職務代行） 院長がやむを得ない事由により職務を遂行できない場合や院長の任期満了後、後任者が任命されない場合は、後任者が任命される前日までその職務を研究所長、附属病院院長の順に代行する。

第35条（機構と職員の定員） ①がんセンターには研究所、附属病院、行政処または事務局及び企画調整室を置く。

②がんセンター職員の定員は900名以内とする。〈改定 2004.6.16〉

③がんセンターの研究所、附属病院、行政処または事務局及び企画調整室の下部組織と部署別定員及び職列等については、理事会の議決を経、保健福祉部長官の承認を得て別途定める。

第36条（人事委員会） ①職員の人事及び服務管理のためにがんセンターに人事委員会を置く。

②委員会は、委員長1人と副委員長1人を含め7人以内の委員によって構成する。

③委員長を含めた委員会の委員は、がんセンター職員の中から院長が任免する。

④ 人事委員会の運営等の必要事項は理事会の議決を経て別途定める。

第37条（職員） ①がんセンターに必要な職員を置くが、職員は院長が任免する。

②第1項の職員に関する人事、報酬及び服務に関する必要事項は、理事会の議決を経、保健福祉部長官の承認を得て別途定める。

第38条（職員の身分保障） 職員は人事規定による当然退職、契約の満了または懲戒による場合を除き、本人の意に反して免職されない。

第39条（兼職） 高等教育法第2条第1号の規定による、大学に勤務する教育公務員は、第4条の規定による事業を遂行するために必要な場合、その所属大学の総・学長の許可を得て、がんセンターの研究または診療業務等を兼職することができる。

第40条（兼職者の職務と報酬） ①第39条の規定により、がんセンターに兼職する教育公務員はがんセンターの定款及び制規定を遵守し、がんに関する研究または診療業務を誠実に遂行しなければならない。

②兼職者には所属機関が支給する報酬以外にがんセンターから手当を支給することができる。

第41条 (兼職解除等) ①院長は兼職者が第40条第1項の規定違反または、がんセンターに重大な損失及び職務の内外を問わず、その体面または威信を傷つける行為をした場合、兼職解除等の適切な措置をしなければならない。

②院長は、第1項の措置を行った場合、兼職者の所属大学総・学長にそれを通報しなければならない。

第42条 (業務協力及び協約締結) ①がんセンターは他の医療機関や研究機関と協力し、がんに関する医療知識やがん治療技術の普及等に関する業務を推進することができる。

②院長は第4条の規定による事業を遂行するために必要と認められる場合、大学・研究機関及び医療機関と、人材及び技術の支援に関する協約を締結することができる。

第43条 (業務の委託) がんセンターは医療費等の収納に関する業務を通信官署及び金融機関に対し、契約をもって委託することができる。

第44条 (基金教授) 院長は、第35条第2項規定による職員の見定員範囲内において第4条の規定による事業を遂行するため、高等教育法第2条第1号の規定による大学に、がんセンターの負担金によって運営する基金教授を置き、がんセンターに勤務させることができる。任用期間、手続及び報酬等運営に必要な事項を理事会の議決を経て院長が定める。

第45条 (定款の変更) ①がんセンターが定款を変更しようとする際は、理事会の議決を経、保健福祉部長官の認可を得なければならない。

②第1項の決議は在籍理事の3分の2以上の賛成によってなす。

第46条 (知的財産権) がんセンター職員及びその他研究業務に従事する者の職務遂行中に達せられた特許権、実用新案権等の諸所有権は、別途特別な契約による場合を除き、がんセンターの所有とし、当該職員及びその他研究業務に従事する者の補償に関する規定は、理事会の議決を経て定める。

第47条 (解散) ①がんセンターは、法律によってのみ解散される。

②がんセンター解散時の残余財産は、国家に帰属する。

第48条 (公告方法) がんセンターにおいて公告する事項は、ソウル特別市内において発刊される1紙以上の日刊新聞に掲載しなければならない。但し、軽微な事項は主たる事務所において掲示、公告することができる。

第49条 (規定の制定) 本定款の施行のために必要な事項は院長が別途定める。但し、本定款において特に規定した事項は理事会の議決を経なければならない。

第50条 (準用規定) 本定款に規定していない事項は、民法のうち財団法人に関する規定と保健福祉部及びその所屬庁所管非営利法人の設立及び監督に関する規則を準用する。

附 則

第1条（施行日） 本定款は、保健福祉部長官の認可を得た日から施行する。

附 則<2001.1.17>

第2条（経過措置） ①がんセンター設立年度に属する事業年度は、がんセンター設立日から当該年度末までとする。

（施行日） 本定款は、保健福祉部長官が認可した日から施行する。

②がんセンターの設立年度に属する事業年度の事業計画及び予算は、保健福祉部長官の承認を得て院長がそれを執行する。但し、院長は遅滞なくそれを理事会に報告しなければならない。

③ 設立当時の特任理事を除いた理事及び監事は設立委員の推薦を受け保健福祉部長官が任命する。

第3条（定款作成及び署名） がんセンターの設立のために本定款を作成し、設立委員がそれに署名捺印する。

2000.3.

- 定款作成者：国立がんセンター 設立委員
- 設立委員長：キム・ノギョン（ソウル医大 教授）
- 設立委員：メン・グァンホ（カトリック医大 教授）
- ”：チョン・ドゥチエ（韓国保健産業振興院 医薬産業団長）
- ”：キム・シヒョン（保健福祉部 顧問弁護士）
- ”：オ・テギユ（保健福祉部 保健増進局長）

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
津熊秀明 味木和喜子	疫学-罹患率と死亡率の推移	園尾博司	よく分かる乳癌のすべて	永井書店	東京	(印刷中)	
津熊秀明 味木和喜子 井岡亜希子	乳癌の罹患率-国内外の動向	坂元吾偉 野口昌邦	乳腺疾患の臨床	金原出版	東京	(印刷中)	

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tanaka S, <u>Sobue T.</u>	Comparison of oral and pharyngeal cancer mortality in five countries: France, Italy, Japan, UK and USA from the WHO Mortality Database (1960-2000).	Jpn J Clin Oncol	8	488-91	2005
Kawamura T, <u>Sobue T.</u>	Comparison of Breast Cancer Mortality in Five Countries: France, Italy, Japan, the UK and the USA from the WHO Mortality Database (1960-2000).	Jpn J Clin Oncol	12	758-9	2005
Inoue M, <u>Sobue T.</u> , et al.	Influence of coffee drinking on subsequent risk of hepatocellular carcinoma: A prospective study in Japan.	JNCI	97	293-300	2005.

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Liu Y, Yoshimura K, Hanaoka T, Ohnami S, Kohno T, Yoshida T, Sakamoto H, <u>Sobue T</u> , Tsugane S.	Association of habitual smoking and drinking with single nucleotide polymorphism (SNP) in 40 candidate genes: data from random population-based Japanese samples.	J Hum Genet	50	62-8	2005
Sakiyama T, Kohno T, Mimaki S, Ohta T, Yanagitani N, <u>Sobue T</u> , Kunitoh H, Saito R, Shimizu K, Hirama C, Kimura J, Maeno G, Hirose H, Eguchi T, Saito D, Ohki M, Yokota J.	Association of amino acid substitution polymorphisms in DNA repair genes TP53, POLI, REV1 and LIG4 with lung cancer risk.	Int J Cancer	114	730-7	2005
Hanaoka T, <u>Sobue T</u> , et al	Active and passive smoking and breast cancer risk in middle-aged Japanese woman.	Int J Cancer	114	317-322	2005
Moore MA, <u>Sobue T</u> , Kuriki K, Tajima K, Tokudome S, Kono S.	Comparison of Japanese, American-whites and African-Americans - pointers to risk factors to underlying distribution of tumours in the colorectum.	Asian Pac J Cancer Prev	6(3)	412-9	2005
Liu Y, Inoue M, <u>Sobue T</u> , Tsugane S.	Reproductive factors, hormone use and the risk of lung cancer among middle-aged never-smoking Japanese women: A large-scale population-based cohort study.	Int J Cancer	117	662-6	2005.

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tsubono Y, Otani T, Kobayashi M, Yamamoto S, <u>Sobue T</u> , Tsugane S.	JPHC Study Group. No association between fruit or vegetable consumption and the risk of colorectal cancer in Japan.	Br J Cancer	92	1782-4	2005
Ioka A, <u>Tsukuma H</u> , Ajiki W, Oshima A.	Trends in head and neck cancer incidence in Japan during 1965-1999	Jpn J Clin Oncol	35 (1)	45-47	2005
Saika K, Ohno Y, Tanaka H, Hasegawa T, <u>Tsukuma H</u> , Oshima A.	The trend of the effect of surgical volume up to 5 years after resection for stomach and lung cancer patients	Jpn J Computer Science			(In press)
<u>津熊秀明</u> <u>味木和喜子</u> <u>大島明</u>	胃癌の時代的変遷－疫学の立場から－	胃と腸	40 (1)	19-26	2005
<u>柴田亜希子</u> , <u>高橋達也</u> , <u>大内憲明</u> , <u>深尾彰</u>	地域がん登録を用いた視触診による乳がん検診の評価	日本公衆衛生雑誌	52(2)	128-136	2005
<u>柴田亜希子</u> , <u>松田徹</u> , <u>佐藤幸雄</u>	山形県地域がん登録における多重がん（第1報）	JACR Monograph	10	43-45	2005
<u>三上春夫</u> , <u>岡本直幸</u> , <u>大島明</u> , <u>早田みどり</u> , <u>陶山昭彦</u>	地域がん登録からみた中皮腫の罹患数および罹患率の推移～千葉県、神奈川県、大阪府、長崎県の協同集計より	JACR Monograph	11	77-80	2006
<u>岡本直幸</u>	個人情報保護と地域がん登録精度	神奈川県医師会がん検診研究会論文集		18-21	2005

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ogino I, Nakayama H, <u>Okamoto N</u> , et al.	The curative role of radiotherapy in patients with isolated para-aortic node recurrence from cervical cancer and value of squamous cell carcinoma antigen for early detection	Int J Gynecol Cancer	15	630-638	2005
井沢純一、山下浩介、 <u>岡本直幸</u> 、et al.	患者から医学生へのメッセージ	ホスピスケアと在宅ケア	13	214-219	2005
<u>岡本直幸</u> 、田中利彦	肺癌CT検診受診者コホートの追跡調査	日本がん検診・診断学会誌	13(2)	1-5	2006
Catherine Sauvaget, Frederic Lagarde, Jun Nagano, <u>Midori Soda</u> , Kojiro Koyama, Kazunori Kodama	Lifestyle Factors, Radiation and Gastric Cancer in Atomic-Bomb Survivors (Japan)	Cancer Causes and Control		16773-780	2005
Ayumi Hida, Masazumi Akahoshi, Kayoko Toyama, Misako Imaizumi, <u>Midori Soda</u> , Renjumaeda, Shinichiro Ichimaru, Eiji Nakashima, Katsumi Eguchi	Do Glucose and Lipid Metabolism Affect Cancer Development in Nagasaki Atomic Bomb Survivors?	Nutrition and Cancer	52(2)	115-120	2005

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Misa Imaizumi, To shiro Usa, Tan To minaga, Masazumi Akahoshi, Kiyoto Ashizawa, Shinic hiro Ichimaru, Eiji Nakashima, Reiko Ishii, Eri Ejima, Ayumi Hida, <u>Midori Soda</u> , Renju Maeda, Shigenobu Nagasaki, Katsumi Eguchi	Long-Term Prognosis of Thyroid Nodule Cases Compared with Nodule-Free Controls in Atomic Bomb Survivors	The Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism	90(9)	5009-5014	2005
Masao Kishikawa, Kojiro Koyama, Masachika Iseki, Toshihiro Kobuke, Shuji Yonehara, <u>Midori Soda</u> , Elaine Ron, Masayoshi Tokunaga, Dale L. Preston, Kiyohiko Mabuchi, Shoji Tokuoka	Histologic characteristics of skin cancer in Hiroshima and Nagasaki: Background incidence and radiation effects	Int. J. Cancer	117	363-369	2005
Elaine Ron, Dale L. Preston, Shoji Tokuoka, Sachiko Funamoto, Nobuo Nihsu, <u>Midori Soda</u> , Kiyohiko Mabuchi, Kazunori Kodama	Solid Cancer Incidence among Atomic Bomb Survivors: Preliminary Data from a Second Follow-Up	Acta Med. Nagasaki	50	23-25	2005

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Masako Iwanaga, Midori Soda, Takashi koba, Masaomi Yamamura, Sunao Atogami, Tatsuro Joh, Yoshiharu Yoshida, Masao Tomonaga	Myelodysplastic Syndromes in Atomic Bomb Survivors in Nagasaki: A Preliminary Analysis.	Acta Med. Nagasaki	50	97-100	2005
吉田匡良, 葉山さゆり, 副島幹男, 谷彰子, 山川さゆみ, 稲田幸弘, 武田靖之, 早田みどり, 陶山昭彦, 池田高良	長崎県における乳がんについて	JACR Monograph	No10	79-80	2005
西 信雄, 杉山裕美, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 桑原正雄, 有田健一	広島市・広島県におけるがん登録の現状と課題	JACR Monograph	No.10	75-8	2005
西 信雄, 杉山裕美, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 桑原正雄, 有田健一, 他	組織登録からみた広島県における前立腺悪性腫瘍の推移	広島医学	Vol.58 No.10	580-3	2005
西 信雄, 杉山裕美, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 桑原正雄, 有田健一, 安井 弥	組織登録からみた広島県における前立腺腫瘍登録数の推移	JACR Monograph	11	60-64	2006
杉山裕美, 西 信雄, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 桑原正雄, 有田健一, 安井 弥	広島市における女性乳がんの実態	JACR Monograph	11	55-59	2006

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Satoh, K., Yanagihara, H., <u>Ohtaki, M</u>	Clustering Method by Connected Neighborhoods and its Application	Advances and Applications in Statistics	4(2)	223-231	2005
Hirokazu Yanagihara, Megu <u>Ohtaki</u> (ITsukuba Univ.)	A family of regression models having partially additive and multiplicative covariate structure	Bulletin of Informatics and Cybernetics	37	49-64	2005
Marugame T, <u>Mizuno S</u>	Comparison of prostate cancer mortality in five countries: France, Italy, Japan, UK and USA from the WHO mortality database (1960-2000)	Jpn J Clin Oncol	35(11)	690-1	2005
<u>水野正一</u> 、 <u>富田真佐子</u> 、 <u>村山隆志</u>	喫煙、禁煙が血清尿酸値に及ぼす影響(縦断研究)痛風と核酸代謝 (印刷中)				
Marugame T, Kamoto K, Sobue T, Akiba S, <u>Mizuno S</u> , Satoh H, Suzuki T, Tajima K, Tamakoshi A, Tsugane S	Six-prefecture Cohort Study Group; Three-prefecture Cohort Study Group; JACC Study Group; JPHC Study Group.: Trends in smoking by birth cohorts born between 1900 and 1977 in Japan	Prev Med	42(2)	120-7	2006

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Marugame T, Yoshimi I</u>	Comparison of cancer mortality (lung cancer) in five countries: France, Italy, Japan, UK and USA from the WHO Mortality Database (1960-2000)	Jpn J Clin Oncol	35(3)	168-70	2005
<u>Marugame T, Yoshimi I, Kamo K, Imamura Y, Kaneko S, Mizuno S, Sobue T</u>	Trends in lung cancer mortality among young adults in Japan	Jpn J Clin Oncol	35(4)	177-80	2005
<u>Marugame T, Kaneko S</u>	Comparison of bladder cancer mortality in five countries: France, Italy, Japan, UK and USA from the WHO Mortality Database (1960-2000)	Jpn J Clin Oncol	35(4)	177-80	2005
<u>Marugame T, Sobue T, Satoh H, Komatsu S, Nishino Y, Nakatsuka H, Nakayama T, Suzuki T, Takezaki T, Tajima K, Tomianga S</u>	Lung cancer death rates by smoking status: comparison of the Three-Prefecture Cohort study in Japan to the Cancer Prevention Study II in the USA	Cancer Sci	96 (2)	120-6	2005
<u>Marugame T, Mizuno S</u>	Comparison of prostate cancer mortality in five countries: France, Italy, Japan, UK and USA from the WHO mortality database (1960-2000)	Jpn J Clin Oncol	35(11)	690-1	2005

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Marugame T, Kam o K, Sobue T, Ak iba S, Mizuno S, Satoh H, Suzuki T , Tajima K, Tama koshi A, Tsugane S	Trends in smoking by bi rth cohorts born between 1900 and 1977 in Japa n	Prev Med	42(2)	120-7	2006